

「白いぼうし」 あらすじとポイント解説 (テスト対策まとめ)

「白いぼうし」 あらすじ

白いぼうし

作：あまん きみこ

夏の日、タクシー運転手の松井さんは、「しんし」を乗せていた。

車の中の「夏みかん」がとてもよくにおうのに、しんしはおどろく。

夏みかんはもぎたてで、松井さんのいなかのお母さんが速達で送ってくれたものだった。それがとてもうれしくて、松井さんは夏みかんを車にのせてきたのだ。

しんしがおりたあと、松井さんは白いぼうしが道においてあるのを見つける。

車にひかれないようにと、つまみ上げると、中からちょうが飛び出して逃げてしまった。

ぼうしには幼稚園の男の子の名前。ちょうをつかまえるためにぼうしをおいていたのだ。

せっかくのえものを逃してしまったと、松井さんは男の子にもうしわけなく思って困ってしまった。

考えた松井さんは夏みかんをかわりにぼうしの中へ入れた。



車にもどると、シートには女の子がすわっていた。

「菜の花町へ行きたい」と女の子はいう。

そこへぼうしの男の子とおかあさんがやってくる。

「早く行って」とあせる女の子。

ちょうが夏みかんに化けて、男の子はおどろいたかな？とわらいがこみ上げた松井さんだが、女の子がいなくなっていることに気がつく。

外には野原。ちょうがたくさん飛んでいた。

「よかったね。」「よかったよ。」「よかったね。」「よかったよ。」という小さな声が松井さんには聞こえた。

車の中にはまだ夏みかんのにおいがのこっていた。

「白いぼうし」ポイント①場面と登場人物について

テストでは、物語の中でおこったできごとのこまかい内容や、誰がどうしたか、なぜそうしたか、など聞かれることが多いよ。

それぞれの場面で何がおきたか、登場人物の気持ちなどをしっかり確認しておこう！



①場面：タクシーの中

タクシーの中

【登場人物】 「松井さん」と「しんし」

【出来事】 松井さんと「しんし」が夏みかんの話をする

「松井さん」と「しんし」の話から、松井さんが夏みかんをタクシーの中に持ってきた理由が分かるよ。

松井さんは、いなかのお母さんが、もぎたての夏みかんを速達で送ってくれたのがうれしくて、車にのせてきたんだね。

「ほう、ほう。」という「しんし」の言葉は、松井さんのお母さんの話を聞いて、感心していることを表しているよ。

②場面：車の外

車の外

【登場人物】 「松井さん」

【出来事】 ●松井さんが白いぼうしを見つける
●つまみ上げた時にちょうが飛び出す
●ようちえんの男の子「たけの たけお」君のものと分かる
●ちょうをつかまえておくためだったと思って困る
●かわりに夏みかんを帽子の中に入れる



しんしをおろした後、松井さんは白いぼうしが道においてあるのを見つけるね。

風で飛ばされたら、車にひかれると思って、松井さんはぼうしをつまみ上げたね。

そうしたら、ぼうしからちょうが飛び出して逃げてしまった。

ぼうしには名前が縫ってあって、男の子がちょうをつかまえるために、わざとぼうしをおいていたことが分かったんだね。

ちょうが逃げてしまって、男の子ががっかりすると思って困った松井さんは、代わりに夏みかんをぼうしの中にいれたんだね。

③場面：タクシーの中

タクシーの中

【登場人物】 「松井さん」と「女の子」と「親子」

- 【出来事】
- 車に戻ると女の子がすわっている
 - 菜の花横町へ行きたいという
 - 親子がやってくる
 - 女の子があわてる

車に戻ると、とつぜん女の子が車のシートにすわっているよ。

男の子が、ぼうしの中のちょうを「あみ」でつかまえようと、もどってくるよ。女の子はあわてて、松井さんに早く行くように言ったね。



④場面：タクシーの中

タクシーの中

【登場人物】 「松井さん」

- 【出来事】
- 男の子がおどろくの想像して笑っている
 - 女の子がいなくなっている
 - 外の野原には、ちょうがたくさん飛んでいた
 - 「よかったね。」 「よかったよ。」という声がきこえた

松井さんは、男の子が「ちょうの代わりに、夏みかんが入っている」ことにおどろくだろうなあ、と想像して笑ったね。

イタズラをした時、どんな反応があるかワクワクする感じかな。

そんな中、後ろの席にいたはずの女の子がいなくなっていてビックリするよ。

そこはちょうど野原で、ちょうがたくさん飛んでいた。

「よかったね。」 「よかったよ。」という声が松井さんに聞こえたね。

このことから、「女の子は、男の子のぼうしから逃げたちょうだったので」ということが分かるね。

「よかったね。というのは、「逃げられて良かったね。」ということだね。



「白いぼうし」ポイント② 新しい漢字とことばの意味を確認しよう！

テストでは新しく習った漢字が出ることもあるよ。
物語で出てくる、ちょっと難しいことばも、どういう意味かしっかり確認しておこう！

新出漢字

信(しん)	信号(しんごう)・信じる
達(たつ)	速達(そくたつ)・友達
飛(と)	飛ぶ
席(せき)	客席(きゃくせき)
健(ケン・た)	建物(たてもの)
菜(サイ・な)	菜(な)の花
例(レイ・たと)	例(たと)える

言葉の意味

紳士 【意味】 高い地位にある男性のこと。
【例】 ほりぼたで乗せたお客のしんしが・・・

たくし上げる 【意味】 服のソデなどを、手で引き上げること。
【例】 ワイシャツのそでを、うでまでたくし上げていました。

もぎたて 【意味】 収穫したばかりということ。
【例】 「もぎたてなのです。きのう、いなかのおふくろが・・・」



- ぬい取り 【意味】 布に、糸などで模様をぬいつけること。
【例】 赤いししゆう糸で、小さくぬい取りがしてあります。
- えもの 【意味】 狩りや漁などでとれたもののこと。
【例】 せっかくのえものがいなくなっていたら・・・
- かたをすぼめて 【意味】 肩をおとすように縮めること。元気がなくて、しょんぼりしたようすのこと。
【例】 ちょっとの間、かたをすぼめてっ立っていた松井さんは・・・
- そめつける 【意味】 染めて色や模様をつけること。
【例】 日の光をそのままそめつけたような、見事な色
- せかせ 【意味】 動きがおちつかないこと。
【例】 後ろから乗り出して、せかせかと言いました
- 目を丸くする 【意味】 おどろいて、目を大きく見ひらくこと
【例】 あの子は、どんなに目を丸くしただろう。
- 化ける 【意味】 形をかえて、ほかの姿になること。
【例】 なにしろ、ちょうが化けたんだから・・・
- わらいがこみ上げる 【意味】 笑うことを我慢できないようすのこと。
【例】 ひとりでにわらいがこみ上げてきました。



「白いぼうし」まとめ

まとめ

- 作者は「あまんきみこ」
- 場面ごとの出来事を確認しよう！
- 登場人物の行動と、理由を確認しよう！
- 新しく出る漢字を確認しよう！
- ことばの意味を確認しよう！

